

三次イノベーションだより

三次イノベーション会議とは

産業界・大学・行政の連携により、大学の有する研究成果、機能等を活用し、これまでのモノ、仕組みなどに全く新しい技術や考え方を取り入れ、新たな価値を生み出し、地域社会に貢献することを目指します。

三次イノベーション会議事務局

(三次市産業部商工振興課内)

2012年5月発行

第12回みよし産学官連携セミナー開催!

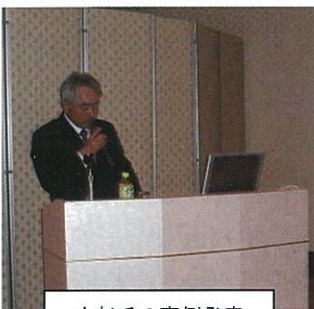
産学官連携により新たな価値を創造

県立広島大学を活用した市内事業者の研究事例について発表する「第12回みよし産学官連携セミナー」を去る3月21日に開催しました。

三次イノベーション会議が、平成22年度に産学官連携支援事業として採択した3件の事例発表のほか、県立広島大学からは、産学官連携により開発された商品の紹介がありました。

この結果を基に、各農家の土壌に即した適切な土壌改良を行うことにより、安全な循環型農業を進めることができるようになるそうです。

○竹粉の有効利用と商品化 (有)大杉組



大杉氏の事例発表

竹林の有効利用を目的に、竹粉の成分分析と新たな商品開発に向けた取組の発表がありました。平成23年度に研究の方針を確立し、平成24年度に本格的な研究・開発に取り組まれることとなっています。

○「吹き戻し」による口腔機能向上 (株)ルピナス

口腔機能のリハビリ用品として「吹き戻し」が市場へ導入されつつあり、最近ではメディアにも注目されるようになりました。医療・介護業界向け商品としての更なる訴求効果の追求と仕様変更化の研究成果について発表されました。



山本氏の事例発表

○肥沃度の簡易測定法 東洋林産化成(株)

フォスファターゼ簡易測定キットを用いて、畑地、緑化土壌の生物状況を評価し、土壌の肥沃度を簡易・迅速に把握できることの発表がありました。



福田氏の事例発表

○県立広島大学産学官連携商品の事例発表

佐伯先生から県立広島大学産学官連携により開発された様々な商品の紹介がありました。新たな価値が創造され、どれもキラリと光る商品でした。三次市の企業からも多くの商品が誕生しています。

終了後はティータイムで名刺交換や情報交換などを行い、今後の地域産業に新たなイノベーションの風を感じるセミナーとなりました。

ビジネスにつながるヒントに!

「何でもサロン」を3回実施

県立広島大学の先生を囲んで、一つのテーマから話題提供をいただいた後に自由な意見交換を行い、ビジネスにつながるヒントを探る「何でもサロン」を実施しました。

第1回「農商工連携を目指した加工食品開発」

加工食品の課題や、農商工連携による新たな商品開発について、生命環境学部生命科学科の吉野先生を囲んで意見交換を行いました。



各地域で特産品開発の取組をされている方に参加いただきました。販路拡大に向けた新たな商品開発や、効率的生産体制の確立など意見交換を行いました。吉野先生からは成分分析のデータなどを利用し商品価値を高めることなどのアドバイスをしていただきました。

第2回「地域の特産野菜を共に育てる」

地域の特産野菜の栽培や開発を主題にして、生命環境学部生命科学科の甲村先生を囲んで意見交換を行いました。

各地域で特産野菜の栽培を中心に取組を進めておられる方々が参加され、参加者の皆さんが日頃悩んでいる栽培方法について、具体的な質問がたくさん出されました。

また、質問に対し、甲村先生からも一つ一つ丁寧に解説やアドバイスをいただきました。

甲村先生の専門的見地からの具体的なアドバイスは、参加者の皆さんの今後の栽培体制に活かされていくものと思います。

第3回「消費者評価調査の重要性と経営対策」

新たな経営戦略や、顧客満足度向上への取組について、生命環境学部生命科学科の黒木先生を囲んで意見交換を行いました。

黒木先生からは、コミュニティビジネスの研究から、常に変化する消費者ニーズや満足度を把握していくことの重要性をお話いただきました。



黒木先生の話を受けて、主に販売に関わっておられる参加者を交えて意見交換を行い、それぞれの業種業態ならではの悩みや取組の紹介など多くの意見が出されました。

黒木先生からは、消費者のニーズの変わり目を把握すること、消費者ニーズの幅、地域間ニーズの幅、他のエリアでのニーズを把握すること、商品コンセプトも一点集中型で取り組むことの必要性など、経営戦略を考えていくためのさまざまなヒントをいただきました。

